

南アルプス市シンボル選定委員会  
第3回選定委員会会議録

1 日 時

平成30年6月27日（水） 午後1時30分

2 場 所

南アルプス市役所3階大会議室

3 出席者（委員）：出席委員15名

（事務局）：総務部総務課

4 次 第

（1）開 会

（2）委員の紹介

（3）委員長の選任

（4）委員長あいさつ

（5）前回の確認事項

（6）議 事

①応募結果について

②シンボル選考基準の確認及び決定方法について

③第4回選定委員会の日程について

④その他

（7）その他

（8）閉 会

## 6 議 事

### 議事（1）応募結果について

#### ○説明：事務局

##### ・募集方法

- 各項目、類似した表記を1分類として集計した結果について説明。
- 分類の上位5番までは内訳について説明。
- 上位の主な投票理由について説明。
- その他の項目は分類が困難なため、応募結果一覧を各委員に事前配布。
- ひらがなカタカナ漢字等、表記が多岐に渡るため、委員の意見を聞きながら絞込んでいきたい旨を説明。

##### ・シンボル選考基準の確認

#### ※選考基準

- 市の風土、自然とかかわりの深いものであること。
- 市民に愛され、親しまれるものであること。
- 今後、市のシンボルとしてイメージ伝達力を有するものであること。

#### ※決定方法

- 選考基準を満たすもの。
- 選定理由を加味する。（前回会議結果より）

以上を資料により説明

#### ○協議事項

- ①名称の表記について。（ひらがな、カタカナ、漢字）
- ②品種の指定をするか。
- ③その他の取扱について。

○シンボルの選考における意見・質問等

- 【委員】：各シンボルについて、応募総数が多いので、投票が多い順から絞り込むことを検討してはどうか。
- 【委員】：シンボルの項目別にそれぞれ大差がついているので、一番多いもので良いのではないか。
- 【委員】：シンボルの表記については木・花・鳥それぞれの決まったものに対して、バランスを考え決めてはどうか。
- 【委員】：各シンボルについて品種を限定すると、市内で生産している他の品種との兼ね合いが良くないと思う。
- 【委員】：シンボルの使われ方には市内の人が親しむことも必要だが、その場合だと一般的な物が含まれる。どちらも満たす候補は厳しい。
- 【委員】：その他の選考にあっては、他の市町村では市のアピールに使うため、市特有のものにしているので、(北杜市@オオムラサキ) 南アルプス市もその他を採用するのであれば、その方法を取るべき、加えて、南アルプス市のイメージに繋がっているもので選ぶべきである。
- 【委員】：その他のシンボルの選考にあっては、くくりが曖昧すぎる。何でもありになってしまい、決められない。先にくくりを決めてはどうか。
- 【委員】：シンボルの木と花で重複するものがある。その扱いをどのようにするか。
- 【委員】：投票の結果はどこまで公表するのか。
- 【委員】：投票数が1番で無いものが選ばれた時、投票数が公開されたら批判があるのではないか。
- 【事務局】：募集要項において、投票で決まる説明は行っていない。また、委員会の中で議論が交わされて出た結論であれば、「投票数を重視」した結果でも、「理由を重視」した結果でもどちらも違いは無いはずである。
- 【委員】：投票の内訳において、圧倒的に若者が多い中、それを親の年代である自分たちでくつがえしてはいけない。投票数の結果で決めた方が、若者の意見としてよいのではないか。

【事務局】：他の市町村でシンボルの募集をかけたときは、「将来を担う若者の意見から得票数で決める」と募集の段階で応募対象を小中学生に限定していた。南アルプス市でも同じ方法で募集をかければ得票数で決まると考えるが、小中学生と大人ではイメージが違っていると折り合いをつけてもらいたい。

## 議事（２）シンボル選考基準の確認及び決定方法について

※シンボルの発表は市制祭での発表となるため、委員意見、協議内容の詳細については、市制祭で正式発表された後に改めて公表。

- ・シンボルの決定について（事後公表）
- ・表記方法について（事後公表）

## 議事（３）第４回選定委員会の日程について

- ・７月中下旬で調整させていただきたい。

## 議事（４）その他

### ①今後の予定

- ・その他のシンボルについての検討。
- ・選考したシンボルの周知方法、活用法について協議していく。
- ・選考結果の発表は市制祭にて行う。（１０月２８日）
- ・協議内容の口外は厳禁とする。

### ②議事内容の公表について

- ・先に公表されれば発表に差支えが出るので、市制祭まで口外しない。
- ・募集を大々的にかけているので、議事録は公開する。
- ・最終的な公表は、協議の内容も入れ市制祭以後の公表とする。
- ・募集結果の内訳は公表していく。
- ・選考に左右されない範囲とする。
- ・応募総数とそれぞれの項目の合計とする。
- ・子どもの意見が多かったことはアピールする。
- ・総数、内訳、主な投票についての公表を考える。

- ・項目については、上位5位か全て乗せるか。⇒上位3位掲載する。
- ・応募結果については新聞で公表も予定している。将来的にPRにつながる。

7.その他

8.閉会

以上